

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、病理解剖を行った患者様の組織標本やカルテの記録、通常の診療で行った検査結果を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（病理標本）を利用することをご了解いただけない方は、下記までご連絡下さい。

【研究課題名】

肝硬変患者の膵うっ血・膵線維化と膵内分泌機能

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院消化器・内分泌・代謝内科

【研究責任者】日浅陽一（愛媛大学医学部附属病院消化器・内分泌・代謝内科 教授）

【研究代表者】今村良樹（愛媛大学医学部附属病院消化器・内分泌・代謝内科 医員）

【研究の目的】

肝硬変患者はその病態の進行とともに糖代謝異常をきたすことが知られていますが、その機序は詳細な病態解明には至っておりません。その機序を明らかにする目的で検討を行います。病理解剖を行った患者様の組織標本やカルテの記録、通常の診療で行った検査結果を収集し、病理学的から糖代謝異常の原因を解明する研究を行うことといたしました。この研究は肝硬変患者における糖代謝異常の原因を明らかにし、今後治療につなげていくことを目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者様）2014年4月から2018年12月に愛媛大学医学部附属病院、松山市民病院、済生会松山病院において病理解剖をおこなった患者
（利用するカルテ情報）性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

(利用する試料) 保管されている試料 (病理標本)

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者様のカルテよりデータを抽出し、匿名化されて、電子ファイルを USB に保存します。試料は直接受け渡しをおこないません。愛媛大学医学部附属病院に集めます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院消化器・内分泌・代謝内科 今村良樹

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5308